

日立灯台のお化粧直しが完了

茨城海上保安部が保守、管理を行っている日立灯台は、重要港湾である日立港を望む景勝地古坊地鼻（同地は、古房地公園として整備されています。）に立つ茨城県内でも有数の大型沿岸灯台です。

同灯台は、和ろうそくをイメージしてデザインされ、日立港に出入りする船舶及び沿岸を航行する船舶の安全を守り続け、日立市民文化遺産（産業遺産）にも登録されています。

永年にわたり重要な海の道しるべとして灯りを灯し続けてきた日立灯台ですが、そのタイル張りの外壁は永年風雨にさらされたことによる老朽化、汚損により、灯台としての外観を著しく損なう状態となっていました。

そのため、今年1月より外壁改修等の工事が行われ、この度、3月16日に無事工事が完了し、お化粧直しを終えました。

建設当時の美しい白亜の姿を取り戻した日立灯台を、ぜひご覧ください。



日立灯台の諸元

設置年月日：昭和42年3月31日

所在地：茨城県日立市大みか町4丁目（古房地公園内）

高さ：平均水面から灯火まで 約42メートル

地上から灯火まで 約22メートル

光達距離：12.5海里（約23キロメートル）